

38. 脚部における結合組織，骨・軟骨の増生を伴う慢性滑膜炎(Chronic synovitis with proliferation of connective tissue, bone and cartilage in leg)

誌名	鶏病研究会報
ISSN	0285709X
著者名	中嶋,洋平
発行元	鶏病研究会
巻/号	41巻4号
掲載ページ	p. 229
発行年月	2006年2月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



鶏病カラーシリーズ

38. 脚部における結合組織，骨・軟骨の増生を伴う慢性滑膜炎（Chronic synovitis with proliferation of connective tissue, bone and cartilage in leg）

キーワード：慢性滑膜炎，骨化，結合組織増生

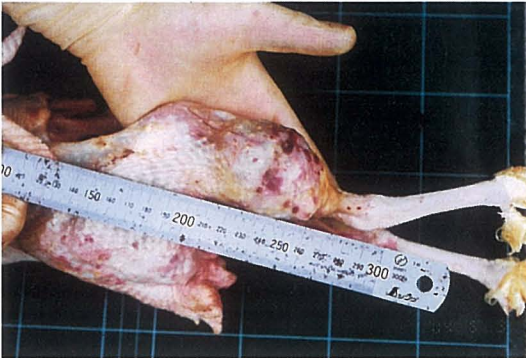


写真 1. 右下脚前部に 7×5×3 cm の腫瘤を認め、剖面は灰白色充実性の部位を主体に、一部に赤色海綿状で軟骨様の硬さの部分がみられた。

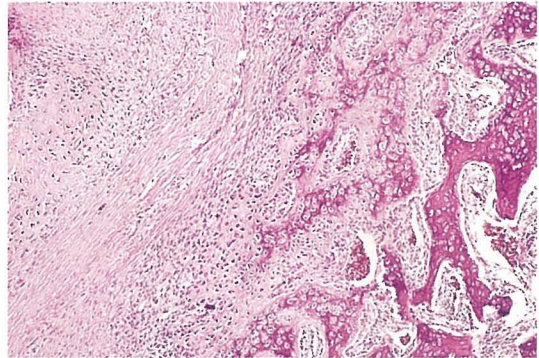


写真 2. 肉眼的に灰白色充実性の部分は花むしろ様配列した紡錘形細胞から成っている。また赤色海綿状の部分は、骨・軟骨化生を伴った滑膜組織である。HE 染色。

動物：採卵鶏（T-360），600 日齢

発生状況および症状：2004 年 6 月 3 日，1 ロット 4614 羽中の 1 羽。脱羽後検査で左右の脚部および胸部に腫瘤を認めた。

肉眼所見：食鳥と体は軽度に消瘦し，左右の下腿前部にそれぞれ 7×5×3 cm，6×3×2 cm のやや硬い腫瘤を認めた。また腫瘤と骨との境界は明瞭で，骨折や骨病変は認めなかった。また，右浅胸筋下で深胸筋を押し上げるように隆起する 4×2×1 cm の境界明瞭な腫瘤を認めた。

脚部腫瘤の剖面は，灰白色，充実性の部位を主体の一部に赤色海綿状で軟骨様の硬さの部分を認めた。左脚では赤色海綿状の部分が右脚より顕著であった。胸部腫瘤は灰白色，充実性の部分と骨様の部分から成っていた。

組織所見：脚部腫瘤は，花むしろ状に走行する膠原線維，島状に多発した骨・軟骨組織そして滑膜組織から成っていた。構成細胞に細胞異型，核分裂像などの悪性所見は乏しかった。腱と腫瘤の付着部を精査すると，腱鞘滑膜が著しく肥厚し，絨毛状の滑膜腔を形成し，形質

細胞の浸潤を認めた。膠原線維は滑膜組織を巻き込むように著しく増殖しており，また骨・軟骨は頰骨を伴い滑膜腔に面して増生していた。胸部腫瘤も同様の所見であったが，滑膜腔に面した骨組織は骨膜を伴っていた。

解説：腫瘤と腱の付着部において慢性滑膜炎の所見を認めたこと，膠原線維が滑膜組織を巻き込むように増殖しており，滑膜炎に付随した増殖と思われることより，腫瘤を結合組織増生の著しい慢性滑膜炎と診断した。骨・軟骨化生についても，滑膜組織の増生に付随したものと考えた。